



参加者の皆さん、お疲れさまでした。  
そして大会を支えていただいたボランティアの皆さん、  
沿道からあたたかい声援を送っていただいた市民の皆さん、ありがとうございました。

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。



**RING!RING!**  
プロジェクト  
競輪の補助事業

## 佐渡市スポーツ協会が発足

5月30日(土)、佐渡市で市民のスポーツ活動の振興を目的に活動している「佐渡市体育協会」と「一般財団法人 佐渡市スポーツ振興財団」が統合し、新たに「一般財団法人 佐渡市スポーツ協会」が発足しました。

今まで別々に活動していた組織の統合により、更なる組織強化を図り、市民のスポーツ活動の振興、活性化および競技力の向上を目指すとともに、交流人口の増加により佐渡市の活性化を図ることが期待されます。



## 佐渡市東京事務所開設10周年記念式典

5月20日(水)、表参道・新潟館ネスパスで、佐渡市東京事務所開設10周年記念式典が行われ、首都圏佐渡連合会、各郷土会などから約70人が参加し、節目となる日を祝いました。

佐渡市東京事務所は、佐渡市の観光、文化芸能、産業振興等に関して首都圏への情報発信と情報収集の充実を図るため、平成17年5月20日に表参道・新潟館ネスパス2階に開設されました。

記念式典では、甲斐市長が、「人口減少対策に取り組むうえで、首都圏における情報発信および情報収集の拠点として、東京事務所の役割は重要である。勇気をもって果敢にチャレンジしていく決意である。」とあいさつしました。また、中野泷新潟県議会議員、佐藤久雄新潟県議会議員、高野宏一郎前佐渡市長、鈴木正志表参道・新潟館ネスパス館長、坂田正通首都圏佐渡連合会長からご祝辞をいただきました。

その後、開設功労者として、当時の首都圏佐渡連合会長として東京事務所開設に精励された池田正雄様(現首都圏佐渡連合会名誉会長)が表彰を受けられました。

続いて、独協大学外国語学部の鈴木涼太郎准教授から、「『交流の島』佐渡への期待。佐渡と女子大生の連

携からみえるもの」と題してご講演いただきました。講演では、相模女子大学の学生が、佐渡市高千地区のたかち芸能祭に参加し、地域住民と交流した事例を紹介し、従来型の「観光」と「定住」のあいだにさまざまな移動の形態、「交流」が生まれつつある。鬼太鼓に限らず佐渡の豊かな資源を活用した新たな「交流」をなお一層拡大させてほしいと話されました。

講演後には、池田正雄首都圏佐渡連合会名誉会長、鈴木涼太郎准教授、甲斐市長をパネリストに、榎谷端夫東京事務所所長の司会で、「東京事務所開設から今日、そして将来に向けて」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

参加者全員、首都圏での情報発信拠点としての重要性を認識し、開設20周年を目指し、佐渡市東京事務所が新たなスタートを切りました。



開設功労者  
首都圏佐渡連合会  
名誉会長 池田 正雄 様